

A wide river flows through a lush green landscape. In the background, a large, modern, multi-story building with a distinctive architectural style sits atop a grassy hill. The sky is blue with scattered white clouds. In the foreground, tall green grasses are visible. The text is overlaid on the image in a bright yellow color.

大和川瓜破地区における 瀬・淵整備について

近畿地方整備局 大和川河川事務所
調査課 角田 豊土

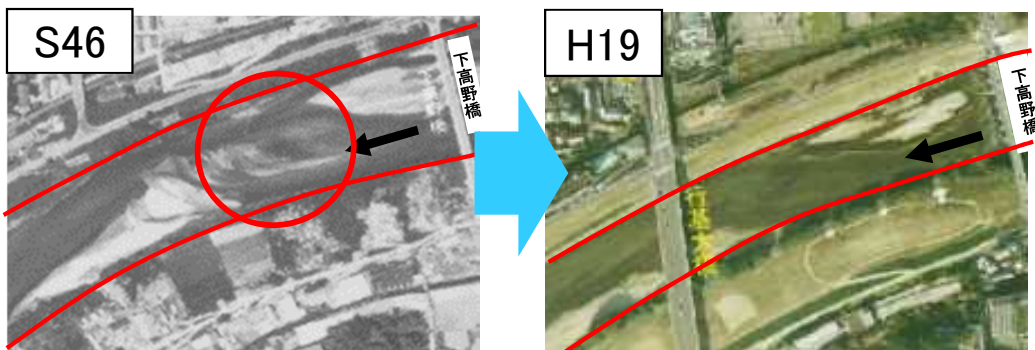
背景

コンクリート護岸整備・河道掘削

→人々が大和川から遠ざかる

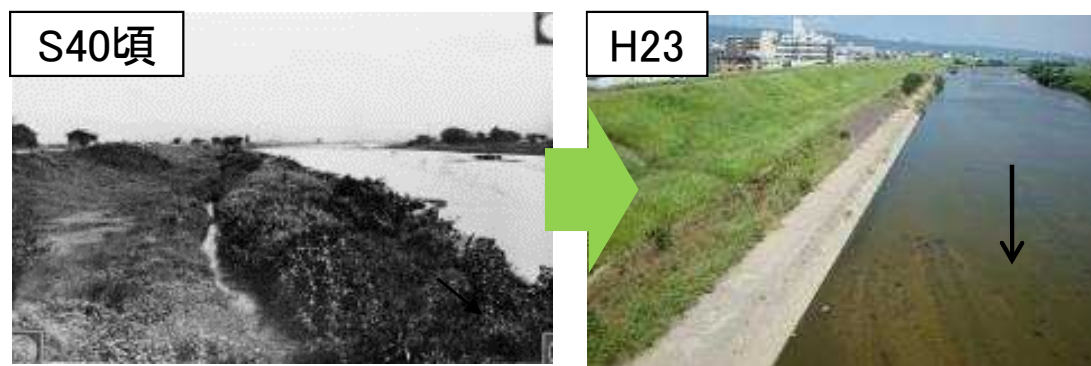
→瀬の約5割、水際植生の約4割が消失(S40と比較)

瀬・淵の減少



瀬の消失（大和川8.7k、下高野橋下流）

水際植生の減少

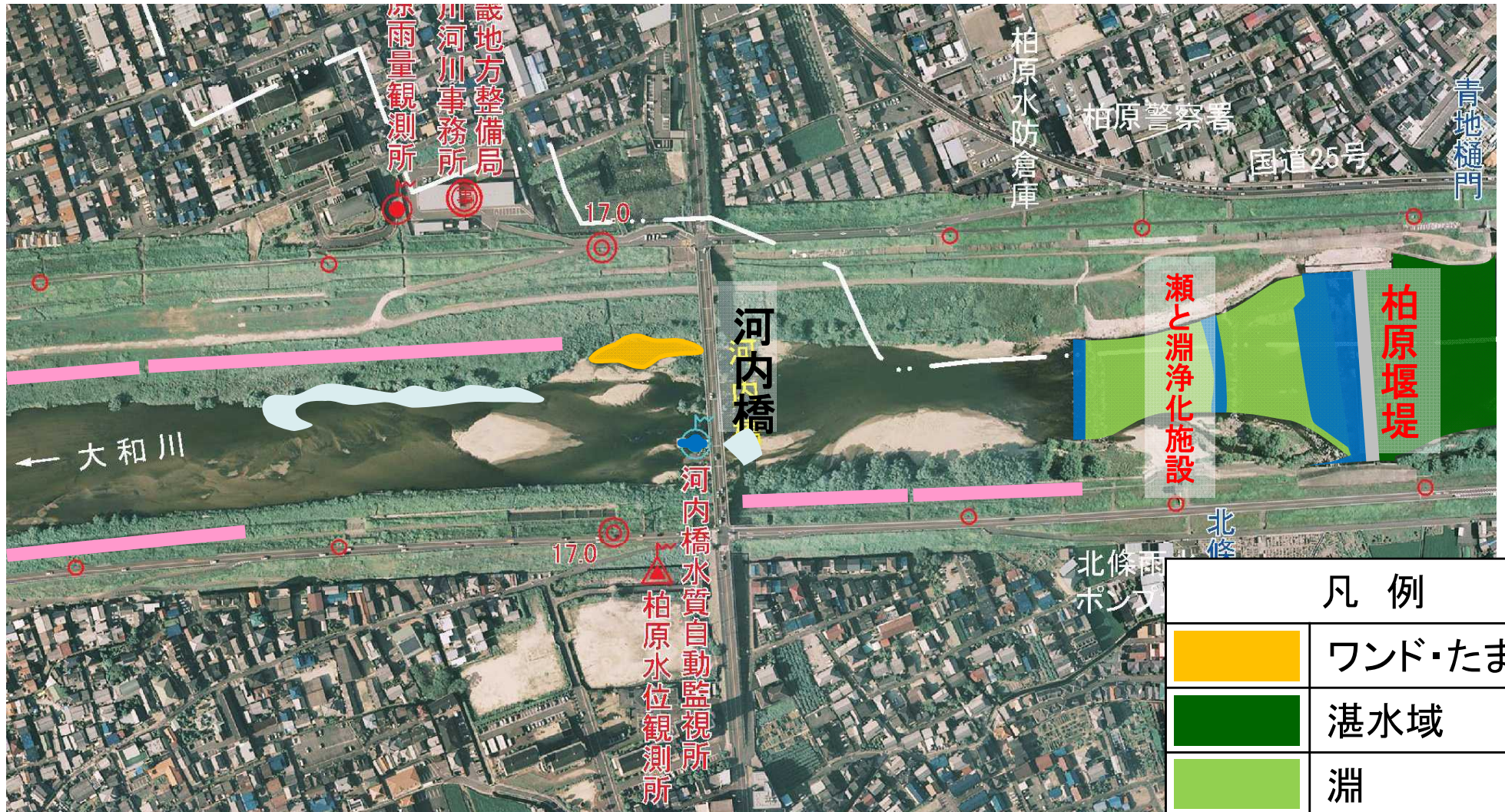








明治橋上流側 12.4k付近

目的

- ◆ハビタットの再生による魚類等の増加
- ◆人々が近づきやすい環境作り

目標 河内橋(17.0k付近)のハビタット

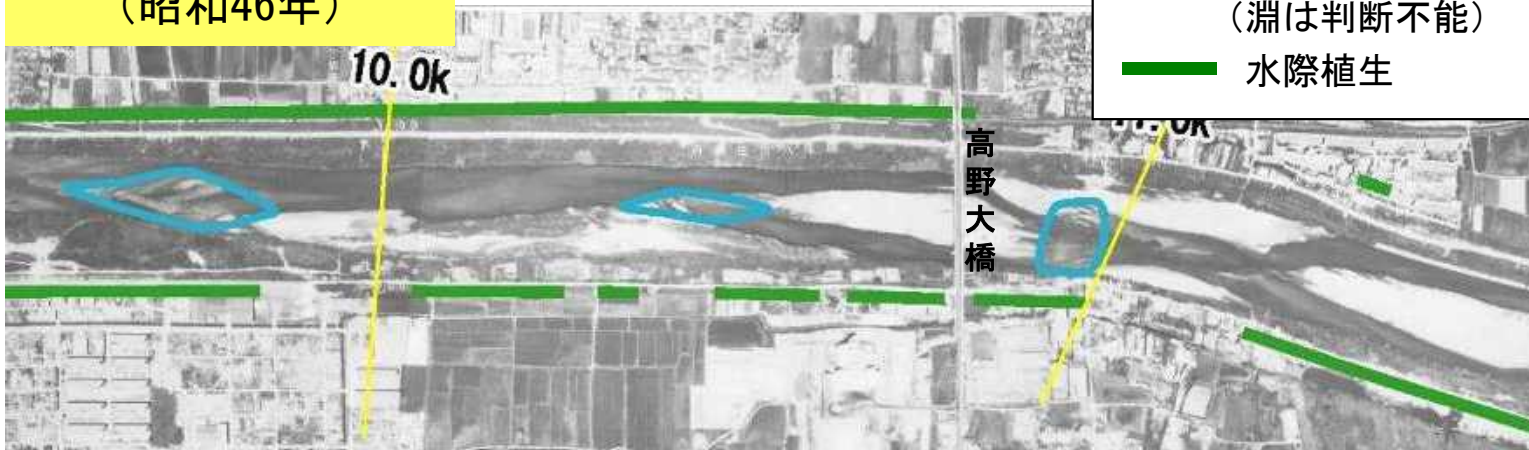


凡 例	
	ワンド・たまり
	湛水域
	淵
	瀬
	早瀬
	水際植生

短い区間で多様なハビタットが形成

かつての大和川
(昭和46年)

約9.5~11.5k区間



○ 瀬
(淵は判断不能)
— 水際植生

瀬の数: **3箇所**
かつ広い
淵の数: (読み取れず)

川の生きもの:
・アユの漁獲高 70kg
(S46年 大阪府域の大和川)
・その他の生きものは詳しい
情報無し

現在の大和川

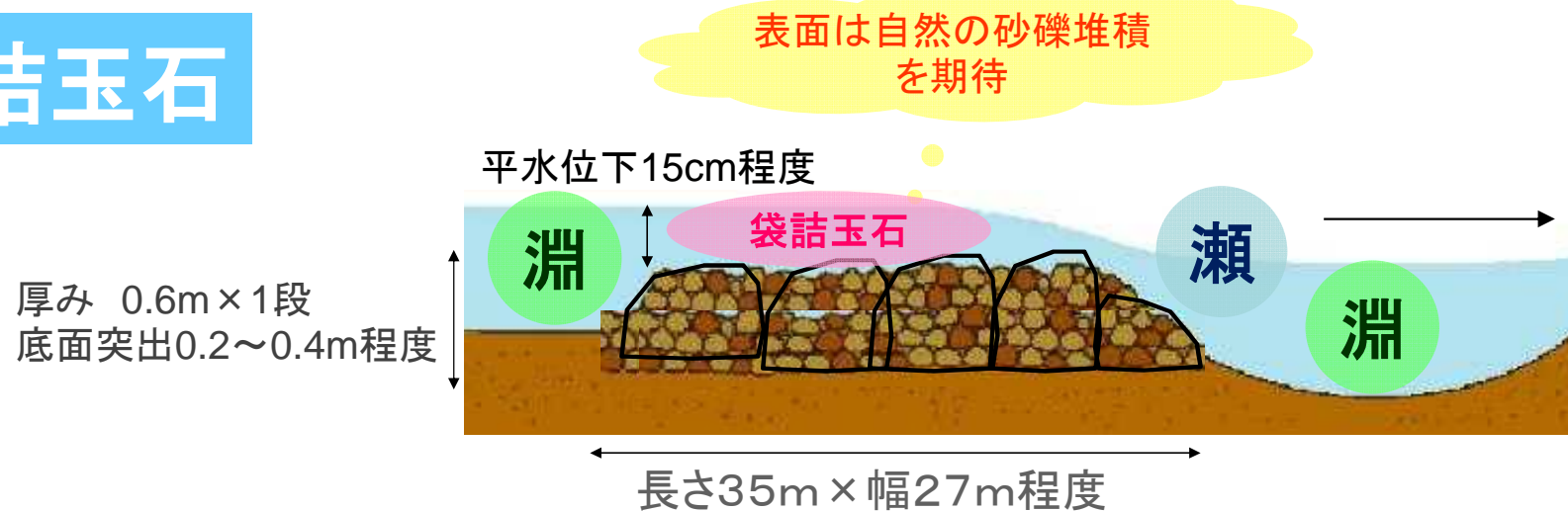


○ 平瀬
○ 早瀬
○ 瀬淵 再生箇所
— 水際植生 再生箇所

瀬の数: **2箇所**
(早瀬) かつ小さい
淵の数: 0箇所

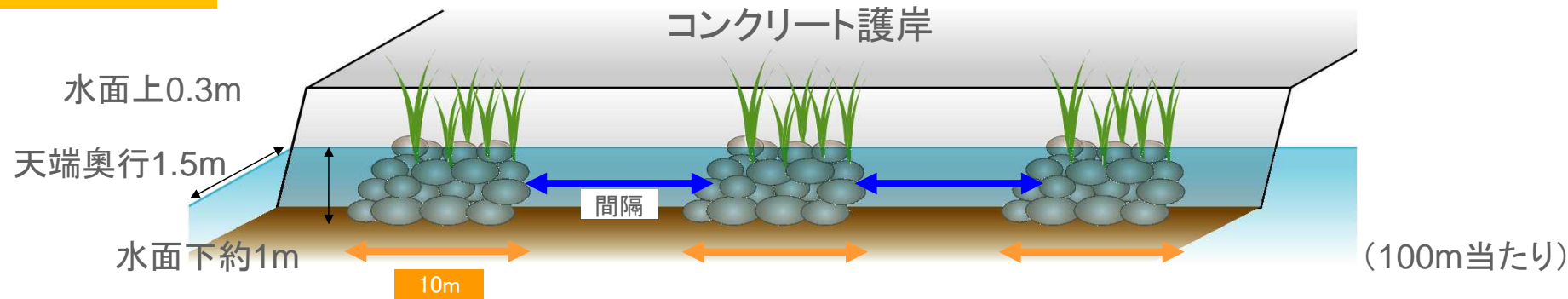
川の生きもの:
・アユの漁獲高 0kg
(現在漁業は行われていない)
・アユの確認数 1匹
・魚の種類数 22種類
オイカワ、ギンブナ、カマツカなど
(平成22年、明治橋12.0k付近、年2回調査で)

袋詰玉石



大和川のアユ産卵場平均水深 15 cm の高さに設置

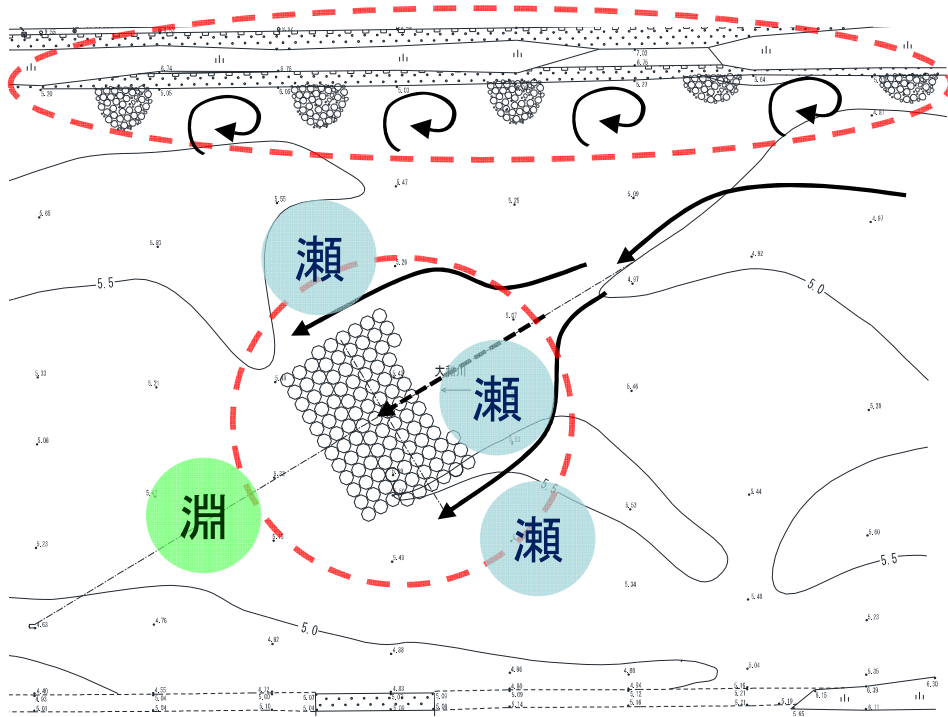
捨石工法



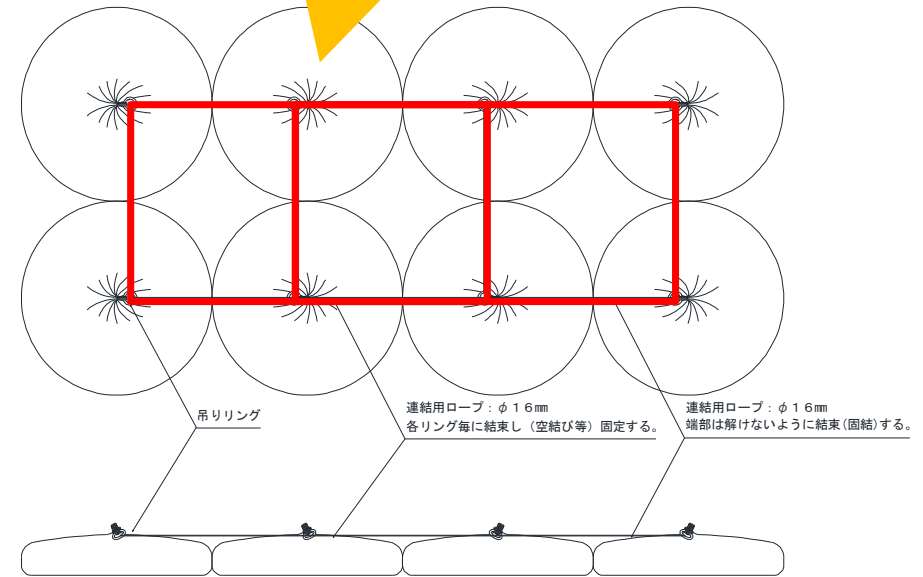
捨て石工の島を等間隔に配置

捨石 → 水際植生

Φ300~600

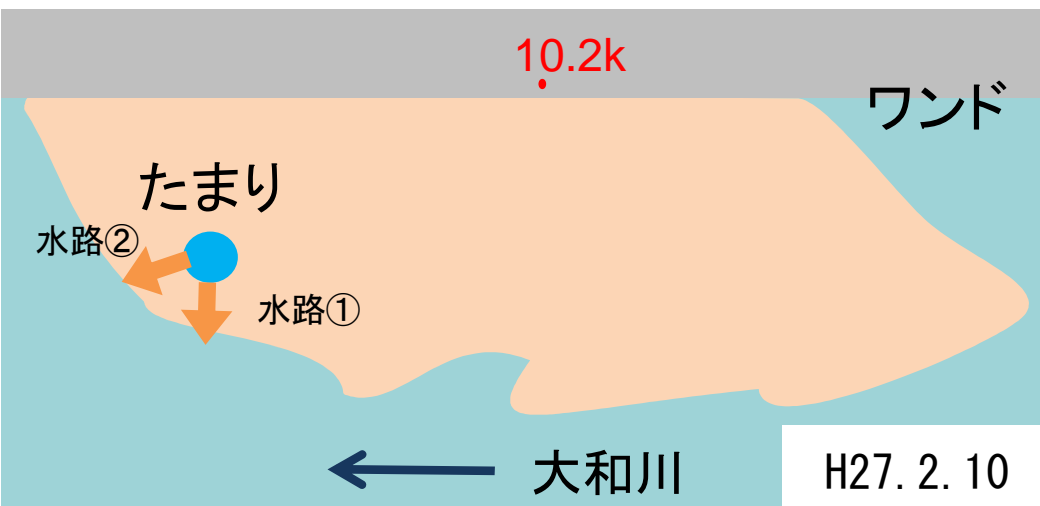


流されないように
ロープ連結!!



袋詰玉石 N=107袋

生息環境を揃えるため、袋詰玉石と捨石を近くに配置



瓜破整備箇所下流(10.0k付近)にたまりを発見
→本川に繋がる水路を掘ってワンドを生成

ワンドの機能

稚魚等の魚類の棲み処、増水時の避難場所

水路②
出口



流れ

水路①
入り口



水路②



水路①



水路②



水路①



水路①

水路②



- 各ハビタットの再生状況
- 袋詰玉石の影響による瓜破地区の環境変化
- 各ハビタットにおける魚類の生息状況の確認

モニタリング調査により整備効果の確認を実施





撮影：H27. 9. 30 水位：-2.13m



玉石の様子

撮影：H27. 9. 14 水位：-1.99m



砂州が発達

撮影：H27. 9. 14 水位：-1.99m



撮影 : H26. 10. 16 水位 : -1.97m

島は崩れて
平面的



撮影 : H27. 9. 14 水位 : -1.99m

植物が生育

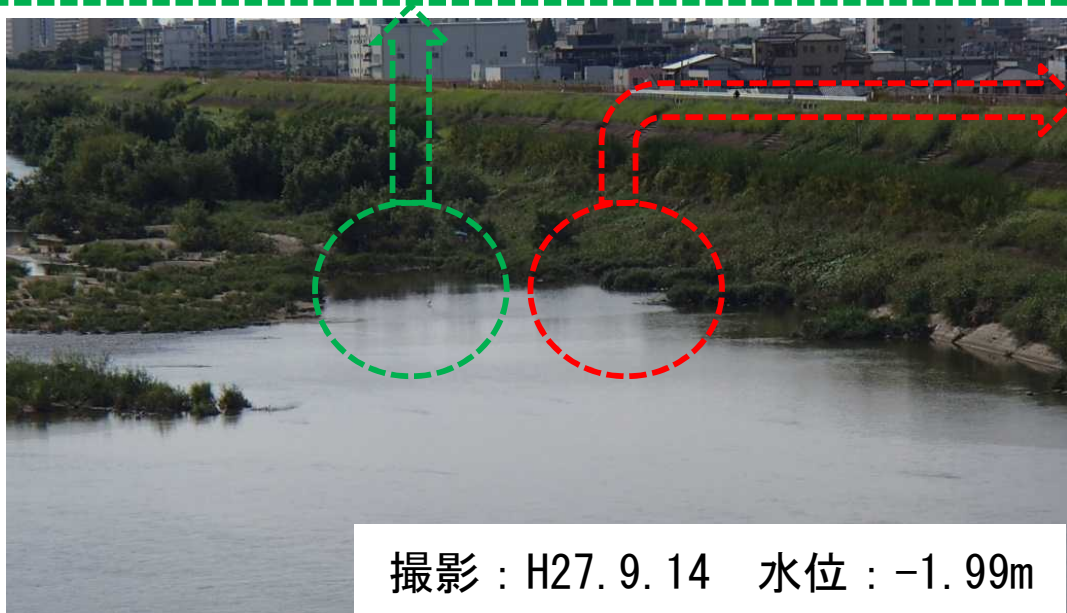


隠れ場



本川につながる

止水域



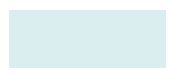




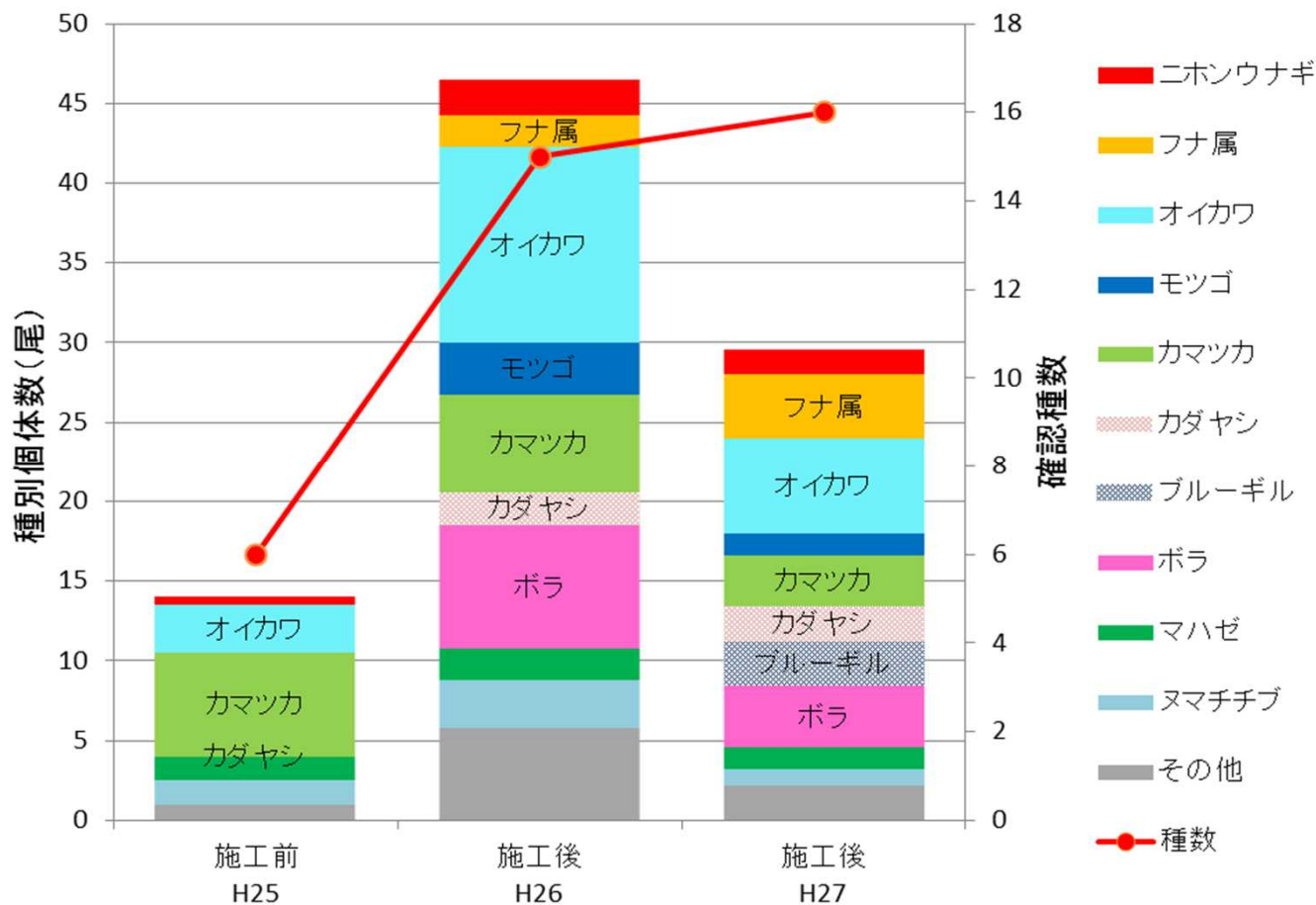
撮影 : H27. 9. 14 水位 : -1.99m





瓜破大橋

凡例	
	ワンド・たまり
	淵
	瀬
	早瀬
	水際植生



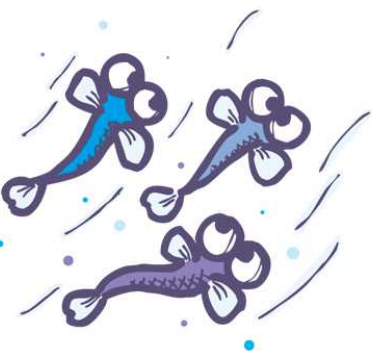
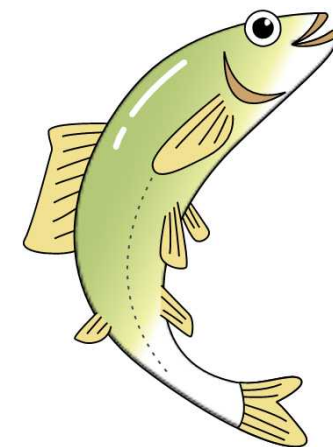




確認種

- トシヨウ(重要種)
- ミナミメダカ(重要種)
- カダヤシ(外来種)
- 爬虫類
- ミシシッピアカミミガメ(外来種)

- 整備当初とは異なる様相になったが、新たなハビタットが形成されている。
- 形状や環境は変化する可能性があるため、モニタリング調査を引き続き行う。



ご清聴ありがとうございました。

